

過去踏襲では何をやってもいずれ大破滅！

2015/1/9

過去小渕首相の慢性不況時に 100 兆規模国債発行の需要喚起でも再起せずの日本経済、何度も同じ失敗反復の過去繁栄の一途踏襲＝虚栄－臆病風と無能支配の生真面目日本、何とかならないか？、気候変動真相ヲ直視すればやるべき事は山とあるのだが、以下論文は非常にわかり易いと思われます。過去踏襲では何をやってもいずれ大破滅！

【アベノミクスの2015年】

物価目標は達成困難、異次元緩和は軌道修正へ

アベノミクスの「先」を見据える必要

――宮前耕也 SMB C 日興証券 金融経済調査部日本担当シニアエコノミスト

<http://diamond.jp/articles/-/64598>

.....
内需の大きさは[人口×1人当たりの所得]で計算できるが人口が減り、1人あたりの所得が伸び悩む日本の現状からみると内需拡大は期待できない。小売りや外食など非製造業が積極的に海外進出しているのも、そうした背景があるからなのだ。
.....

待ち受けているのは「どんなに金利が低下しても国債売却が行われない状態」

*経済詳細は判りかねますが、資本主義システム故障＝市場飽和と気候破壊、部品交換で直る事態でないでしょう、この視点直視です、之が出来ないと過去繁栄の一途踏襲＝虚栄－臆病風と無能支配の真面目日本で破滅に一途向かいます。通うな状況ですから年金確保で生活保障ある満期退職層、及び富裕層等を除けば、明日の生活保障に誰もが不安を禁じえない!!!。もう個人技で救済がある時代でない<市場飽和と気候破壊>、生活基礎原点に立ち戻る国民政治運動＝世界政治運動にするしかありません。

* (付録過去メル_1)国内各界(経営者-労組-農協漁協-行政-教育医療福祉等)指導者とその参加組員殿、**最悪事態想定作業を!** 2014/6/16

客観事実誰が言い出しでも事実は事実、以下は真に現状体制には不都合極致!!。

このま放置でも緊急対策に転じて間もなく気候凶暴化が誰にも見える時代に、

<対策に転じる事は一時的困窮時期あれど、最終的な救済につながります>

最悪は最悪事態想定作業を怠る事!、この一点に付き報告申し上げます。このまの

世界体制だと、如何なる文物も超える前代未聞の地獄絶滅世界に間もなく入ります。

*だが地球救済工学は可能だ、こが狙いです。

<http://www.777true.net/Estimating-the-worst-case-scenario.pdf>

*識者がこぞって指摘は米戦争屋操縦の安部隠れミッションは日本破滅!!

米国大早魃等の気候崩壊進行を見ての米保守層は逆の偽旗戦争-自滅推進路線、

Rockefeller 筆頭の upside down world 支配層に気づかねばなりません。

link:

<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/>

<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/diary/201501080000/>

ドイツやフランスがアメリカの政策に異を唱え始めている。ドイツのアンゲラ・メルケル首相にしる、フランスのフランソワ・オランド大統領にしる、これまでアメリカの傀儡だとみなされてきた人たちが、EUの内部でアメリカのやり口に対する反発が強まってきたということだろう。

http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot

http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/34534761.html

米戦争屋CIAは、暗殺対象を自ら暗殺せず、犯人に仕立てられた誰かをマインド・コントロールして、ターゲットを暗殺させる技術をもっていることがわかります。この技術はMKウルトラ計画(注10)という米戦争屋CIAの国家機密プロジェクトで開発済みです。

<https://www.popularresistance.org/>

* (付録過去メル.2)

[2]: 間もなく気候地獄化時代を控え、日本人自己点検マニュアル試論:

北歐-欧州やカナダ等の政治行政には無論大問題もあるのだが、彼らは日本人よりは政治動作が多少まともに見える、その差異は何処から来るか、僅かな自覚の違いでないのか。筆者が圧倒的に認識する日本人弱点は局所問題は滅法強いが肝心大局では全くの無能!。近年は大学研究機関や行政関係者とも交渉する機会が多々あったが、己専門以外は殆ど話が出来ない自己虫化人が増えて恐怖を覚える。深い井戸を掘るには間口を広げろという人も居た。

日蓮曰く、「己安泰を願うならば全体安泰をまず考えるべし」の一言に尽きてる、之さえ世界が実行できたならば激変するだろう。俗人筆者の場合、宗教古典は聖職者の神崇拜とかよりも”現世まとも化の実用マニュアル”に見える。そも神自身が以下の様に言う、それは実用マニュアル的な話でもある。他方で宗教は其の”超常性に予言啓示權威”が由来するのであり、筆者場合はそれは科学だった事が従来聖職者とは認識を異にする所です。宗教古典は非常に現実事実によく即しています。

<http://www.777true.net/Proof-on-God.pdf>

(John.5:3): 神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。そして、その戒めはむずかしいものではない。

立正安国論の現代語訳：

<http://www4.ocn.ne.jp/~sen0001/gosyo02b.html>

聖書エペソ6. 12~16(日本聖書協会): <下線部分は king James 版によれば誤訳です>

わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、(この世の) もろもろの支配と、権威と、やみの世(暗黒)の主権者、また天上にいる悪の霊(この世の高所にいる邪悪精神)に対する戦いである。それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当てを胸につけ、平和の福音の備えを足にはき、その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。

3. Al-i-' Imran

<http://www.alquran-english.com/3-al-i-imran/>

003.175 M.H.SHAKIR: It is only the Shaitan that causes you to fear from his friends, but do not fear them, and fear Me if you are believers.

あのシャイタンの如きは自分の手下だけしか脅かすことができぬ者、されば汝ら少しも怖がる事はない。このわしこそを怖がれ、もし本当の信者ならば。

(井筒俊彦訳、岩波新書コーラン)。

日月神示：「国常立尊」

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%88%E7%A5%9E%E7%A4%BA>

それらもすべて「国常立尊」と呼ばれるこの神霊の仕組みであったと神霊自身は語っている。「一火りの巻」(ヒカリの巻) 第四帖で「世界国々所々に世の大洗濯知らず神柱現はしてあるが、これは皆この方の仕組みだから皆仲良う手引き合ってやって呉れよ。」と述べられ、時代や国、地域を超えて古くからこの神霊の仕組みや働きがあったものと考えられている。

* 正月といえば神事行事がつき物だが、上記記述に見る如く、神は頼むとか祈るとかもあるのだろうが、本質は**大乘救済の契約**であり、それは**神命に従う政治行動**と筆者には見えます。

* * 仏で自称イスラム教徒犯行の大惨事、まずは犠牲者冥福を祈りますが、犯罪者も被害者も双方に間違いがある様に見えます。不当な侵略はイスラムがもっとも禁じる所です、9/11以後にイスラムを不法侵略してるのは欧米勢力である事です、欧米勢力が殊更にイスラム敵視理由は、侵略者不服従の徹底です=聖戦。命に代えても敵服従がない事は欧米支配層に取り、最大不安材料だからです。ロシア-中国もイスラムも 欧米に不服従だから、欧米&日本では常に悪役にされる。

